

1
28.11.41800c
南スーダン派遣施設隊

南スーダン派遣施設隊 日々報告 第1755号

閲覧は関係者限定

用済み後破棄

報告項目

1 本文（要約）

- (1) 情 勢
- (2) 本日の活動成果
- (3) 明日の活動予定

2 別紙類（細部活動状況）

- (1) 本日の成果
活動概要
- (2) 明日の活動
 - ア 活動に及ぼす影響
 - (ア) 情 勢
 - (イ) 基盤上（兵站・衛生・人事）
 - (ウ) 総括（評価）
 - イ 活動命令
 - (ア) 施設活動等実施に関する行動命令
（方針・指導要領・各部隊の任務）
 - (イ) 視察・来隊予定
 - (ウ) 隊長・副隊長・CSMの行動予定

3 今後の予定

4 情報共有事項

5 参考資料

- (1) 気 象
- (2) 暫定政府樹立までの主要結節
- (3) 予想シナリオ（状況推移）と
日本隊に及ぼす影響
- (4) 部隊配置状況
- (5) タスク現況
- (6) 警備の態勢

(1) 全 域

凡例 赤字：變化事項

衝突解決合意は、キール大統領が9月30日に地域保護部隊に関する国連への協力を再度示しているものの、政府内高官による相反する発言が確認されていることから、11月中に予定されてる安保理協議特に、制裁に関する協議の動向には注視が必要

一方、南スーダン国内外において両勢力の内部分裂又は離反・統合の動きが確認されるとともに、マシャル第1副大統領派がキール政権に対する抵抗及びジュバ帰還への意思を示したことから、反主流派指導部の分裂、政府軍に統合されていた反主流派の一部離反、国内外へのマシャル氏の影響力の趨勢について注視が必要

北部のリーア及び南部において政府軍と反主流派（マシタル派）との緊張状態が継続し、予断を許さない状況が継続

キール大統領は地域保護部隊の展開に前向きな姿勢を見せ始めているものの、市民団体が地域保護部隊の派遣に関して反対を表明しており、対国連感情の変化には注視が必要

また、北部及び南部において、ディンカ族内での他部族への悪感情が増大しており、キール大統領が抑制を呼び掛けているものの、新たなキール政権への抵抗を示す武装集団の台頭や暫定政府高官の離反が始まる等その動向には注視が必要

加えて、南アフリカ政府も和平合意への関与を示していることから、今後の政府間の動向にも注視が必要（併せて、プロパガンダにも注意）

ジュバ郊外、特に、イエイ及びカジョケジでの政府軍と反主流派（マシャル派）との緊張状態及びエクトリアー帯での武装集団による襲撃事案は継続するとともに、ディンカ族と他部族との緊張状態も生起し、

ある。また、郊外へ至る経路上では通行許可証等を要求するS O F A違反が継続しているが、**F Pを含めたU N M I S Sのパトロールによるプレゼンスの提示**及びジュバ - ニムレ道沿いのウガンダ警察と、南スーダン警察との協力態勢の確立による治安の回復が期待されるものの、その状況に注視

(3) ジュバ市内

市内は平穏な状態に戻りつつあるものの、夜間に治安機関が強盗、不審者等へ警告射撃等を実施しており、夜間は流れ弾が発生しやすい状態が継続

また、南スーダン政府は安保理決議の受入を原則的に表明しているものの、引き続きS O F A違反の発生状況に注視

では、常続的に射撃が確認されており、
逐次進展が見られるものの、ディンカ族とエクアトリアンの
対立、不安定な状態にあり引き続き些細
な変化に注意が必要

また、ケニア軍の撤退を政府側及び反主流派双方とも支持しており、さらに国連のタスク
フォース派遣に関する情報もあることから、今後の対U N M I S S感情の変化に注意が必要

(4) ウガンダ

2016年2月の大統領選及び5月の野党党首の収監以降は、大規模な暴動等は首都カンパ
ラにおいては確認されていないものの、7月中旬の野党党首の出所以降、野党党首支持者と警
察との間で小規模な衝突が首都カンパラにおいても発生しており、集会等の実施場所周辺では
注意が必要

また、治安はアフリカの中では比較的良いものの、強盗、窃盗等の一般犯罪の発生が確認
されており、夜間の単独外出や昼間でもスラム等への立ち入りは危険を伴う

(5) 活動に及ぼす影響

宿営地においては、夜間の周辺での射撃による流れ弾には注意が必要

また、ジュバ市内においてはハラスメント及び政府軍による検問周辺での流れ弾、交通事
故への巻き込まれには注意が必要

なお、UNハウス周辺においては射撃及び銃を携行し徒歩で移動する政府軍兵士が確認さ
れていることから近傍での活動には警戒が必要

マラム採掘場周辺においては、U N M I S S部隊や地元民が通常通りの活動を実施している
ものの、地元民から治安事象が確認されており、流れ弾には注意が必要

2 本日の活動成果

(1) 方針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、マラム運搬、UNハウス地区西側外壁構築、弾薬庫増設及びUNトンピン内退避壕構築、LV2クリニックプレハブ構築、MOVCONゲート整地を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、UNハウス地区における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2) 指導要領

ア 文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、UNトンピン地区内における給水活動（成果：9 t）

イ 人道支援実施のための環境作り等

(ア) UNハウス地区西側外壁構築

第2施設小隊をもって、UNハウス地区における西側外壁構築

(イ) UNハウス地区弾薬庫増設

第3施設小隊をもって、UNハウス地区における弾薬庫増設

(ウ) LV2クリニックプレハブ構築

第1施設小隊をもって、UNトンピン地区内LV2クリニックにおけるプレハブ構築

(I) MOVCONゲート整地

第1施設小隊をもって、UNトンピン地区MOVCONにおけるゲートの整地

(オ) UNトンピン地区退避壕構築

施設器材小隊をもって、UNトンピン地区における退避壕構築

(カ) マラム運搬

施設器材小隊等をもって、ジュバ市外におけるマラム運搬

ウ その他の活動

(ア) 情報活動

- a 隊本部をもって、ジュバ市内及び[REDACTED]における経路偵察
- b 情報班をもって、ジュバ市内における情報収集活動

(イ) 業務調整

- a 隊本部をもって、宿営地における日本大使館書記官及び連絡調整要員との連絡調整会議の実施
- b 隊本部等をもって、UNトンピン地区内、Nハウス地区内及びジュバ市内における業務調整

(ウ) 宿営地内活動

- a 本部付隊をもって、宿営地管理業務
- b 隊本部をもって、宿営地における韓国国防省厚生担当者による研修対応

(I) 教育訓練等

なし

(オ) 民生協力

なし

(カ) 隊本部幕僚による、UNハウス地区における現場確認

(キ) 警務班をもって、ジュバ市内における重車両輸送支援

(ク) 隊本部をもって、ジュバ市内における現地調達業務

(ケ) 隊本部をもって、UNトンピン地区内における業者対応

エ 表敬等

なし

オ 各種行事等

なし

カ 国際機関等連携案件

なし

3 明日の活動予定

(1) 方針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNトンピン地区内給水活動を実施するとともに、孤児院の慰問を実施し、南スーダンの将来を担う子供達の成長を支援して、南スーダンの平和と発展に寄与するとともに、日本国への信頼を醸成する。
また、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図る。

(2) 指導要領

ア 文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、UNトンピン地区内における給水活動

イ 人道支援実施のための環境作り等

なし

ウ その他の活動

(7) 情報活動

a 隊本部をもって、ジュバ市内における経路偵察

b 情報班をもって、UNトンピン地区内及びジュバ市内における情報収集活動

(4) 業務調整

隊本部等をもって、UNトンピン地区内における業務調整

(5) 宿营地内活動

a 本部付隊をもって、宿营地管理業務

b 施設器材小隊をもって、多目的グラウンド整地

(I) 教育訓練等

隊本部等をもって、宿营地内における国連休暇前教育

(オ) 民生協力

なし

- (カ) 隊長による、ジュバ市内CCC (Confident Children out of Conflict) 慰問現場視察
- (キ) 隊本部等による、ジュバ市内CCCにおける慰問
- (ク) 隊本部をもって、ジュバ市内における現地調達業務
- エ 表敬等
なし
- オ 各種行事等
日本隊宿営地における、豪軍要員との日豪懇親会
- カ 国際機関等連携案件
なし

1 本日の成果

別紙第1 「活動概要」
別紙第2 「活動成果」

活動概要（UNトンピン地区）（1／7）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	UNトンピン地区内退避壕構築	器材小隊	0800～ 1600	UNトンピン内	19	小型×1、大型×1、 特大型×1、ROV×1 中型×1、油圧×1 ロードローラー×1	
②		LV2クリニックプレハブ構築	1小隊	0800～ 1600	カンボジア病院	22	大型×1、高機×1、 中型×1	
③		MOVCONゲート整地	1小隊	0800～ 1600	MOVCONゲート	7	大型×2、グレーダ×1 ロードローラ×1	
④	その他	給 水	補給班	0800～ 1000	トランジット エチオピア歩兵大隊	2	給水車×1	
⑤	その他	給 水	補給班	1000～ 1200	ネパールFPU	2	給水車×1	
⑥		業務調整（施設）	隊本部 (S-3)	0800～ 1600	工兵課	3	小型×1	
⑦		業者対応（施設器材）	隊本部 (S-4)	0830～ 1600	ウエストゲート	2	小型×1	
⑧		業務調整（輸送）	隊本部 (S-4)	0900～ 1630	MOVCON	3	小型×1	
⑨		広報活動	広報班	0740～ 1600	UNトンピン	2	小型×1	
⑩		業務調整（通信）	隊本部 (S-3) 通信班	1000～ 1200	CITS	3	中型×1	
⑪	その他	業務調整	隊本部 (S-1)	0900～ 1600	各TCC オフィス地域	2	小型×1	

活動概要（UNトンピン地区）（2／7）

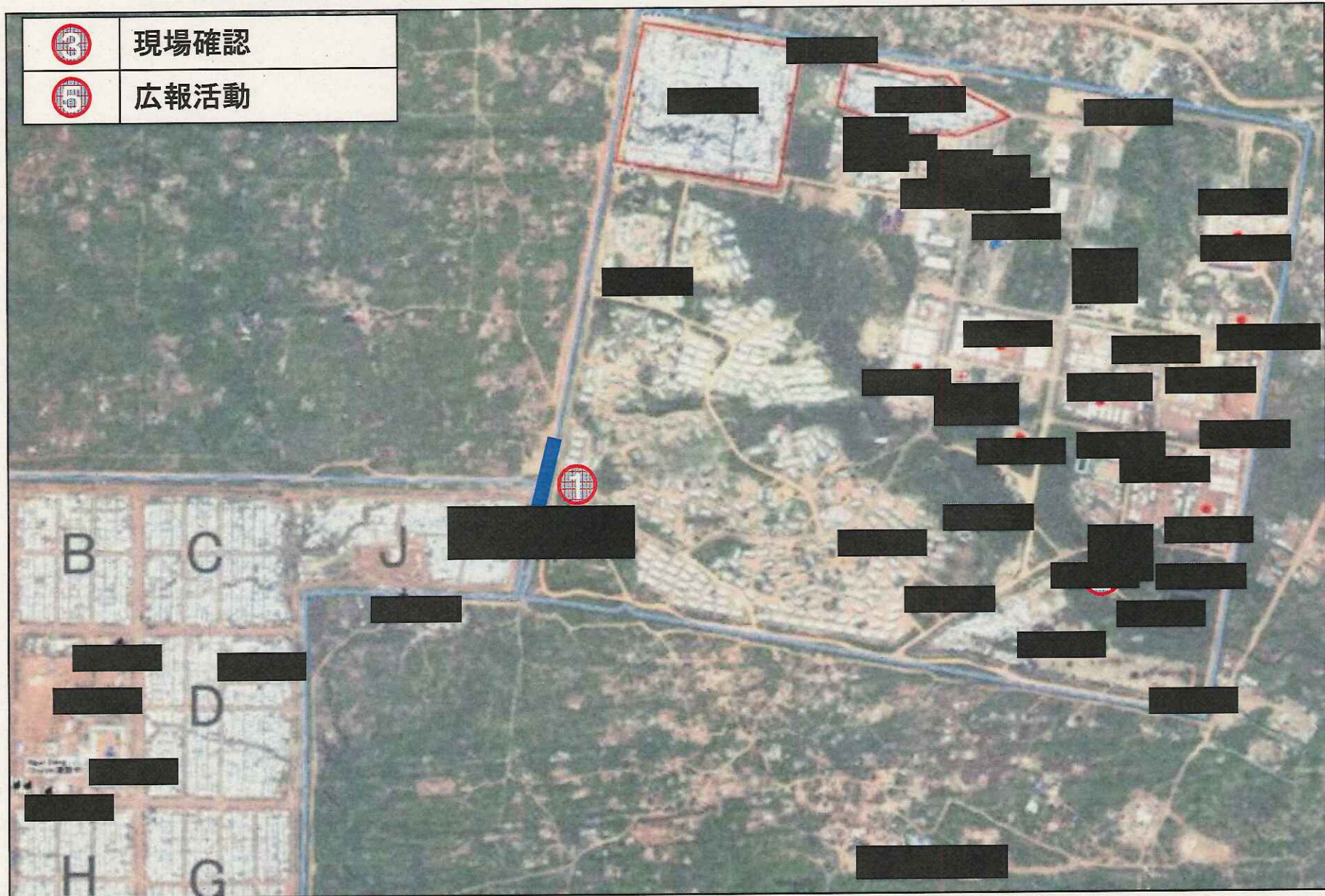


広報活動

活動概要（UNハウス）（3／7）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	UNハウス地区西側外壁構築	2小隊	0730～ 1630	UNハウス西側	11	高機×3、大型×1、 特大型×1	
②		UNハウス地区弾薬庫増設	3小隊	0731～ 1630	弾薬庫	21	高機×2、大型×2 特大型×1	
③	その他	現場確認	隊本部 (S-1) (S-3)	0800～ 1130	UNハウス及び UNトンピン	4	ランクル×1	
④		業務調整（施設）	隊本部 (S-3)	0800～ 1630	UNハウス	5	高機×1	
⑤		広報活動	広報班	0800～ 1630	UNハウス	2	高機×1	

活動概要（UNハウス）（4／7）



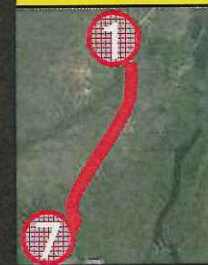
活動概要（ジュバ市内）（5／7）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	マラム運搬	器材小隊 警備小隊 情報班 衛生班 整備班	0930～ 1600	ルリ橋北側	14	特大型×3、高機×2	
②	情報	経路偵察	隊本部 (S-2)		市内全域			
③		情報収集	情報班		ジュバ市内			
④	その他	現地調達（厚生）	隊本部 (S-1)	1330～ 1600	フェニシアバンプ	3	ランクル×1	
⑤		重車両輸送支援	警務班	0720～ 1600	ジュバ市内	2	高機×1	
⑥		業務調整（広報）	隊本部 (広報) (S-3) (S-4)	1300～ 1630	ユニバーサル	4	高機×1	
⑦		業務調整（施設）	隊本部 (S-3)	0900～ 1200	ルリ橋北側	3	高機×1 (司令部幕僚)	

活動概要（ジュバ市内）（6／7）

①	—	マラム運搬
②	—	経路偵察
③	—	情報収集
④		現地調達（厚生）
⑤		重車両輸送支援
⑥		業務調整（広報）
⑦		業務調整（施設）
—	—	予備経路

マラム採取場

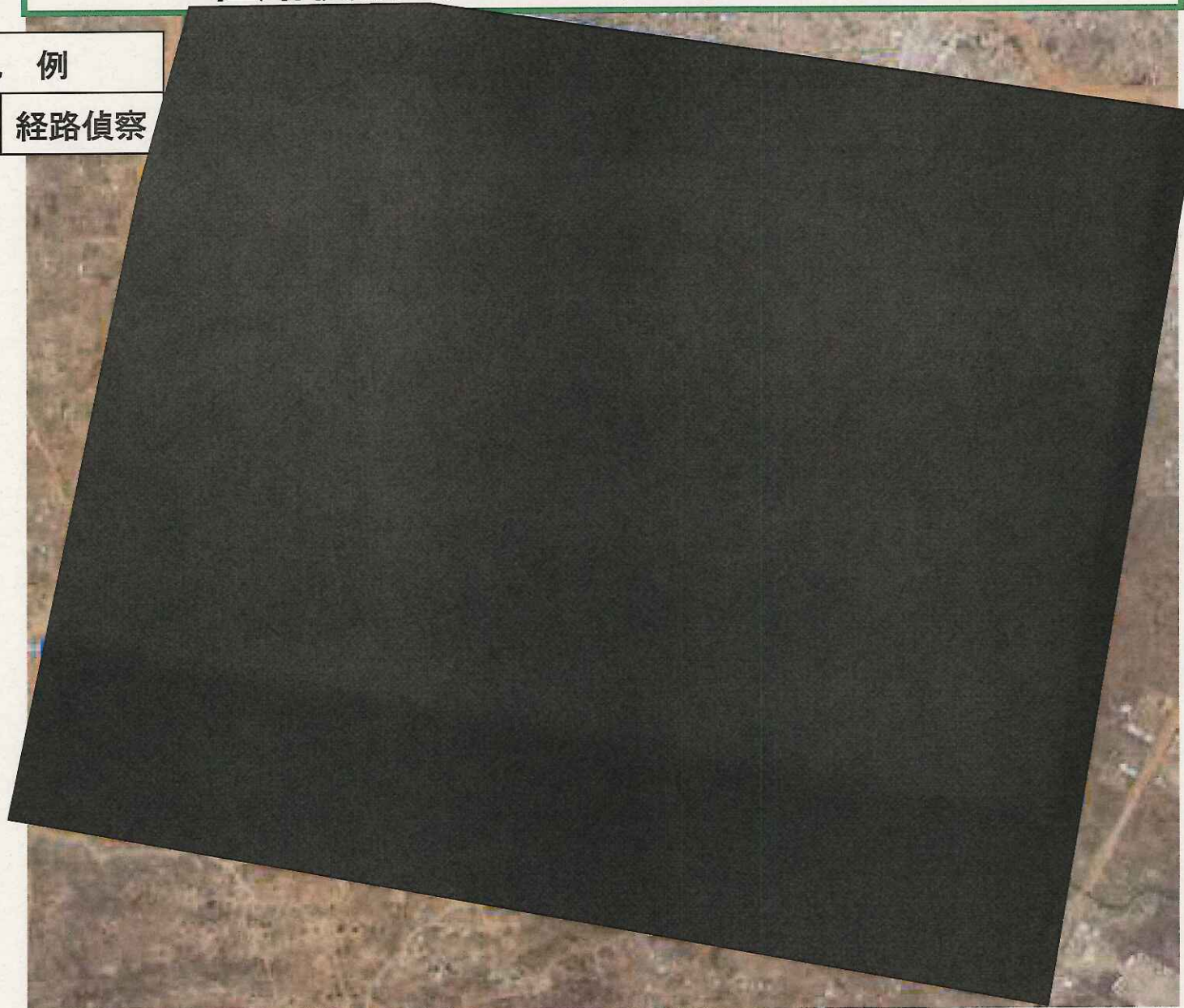


経路偵察（UNハウス）（7/7）

凡 例



経路偵察



本日の活動成果

UNTンピン地区退避壕構築

活 動 中

施設器材小隊【11.4 0900現在】



活 動 中

施設器材小隊【11.4 1400現在】



活 動 成 果

進
度
累
計



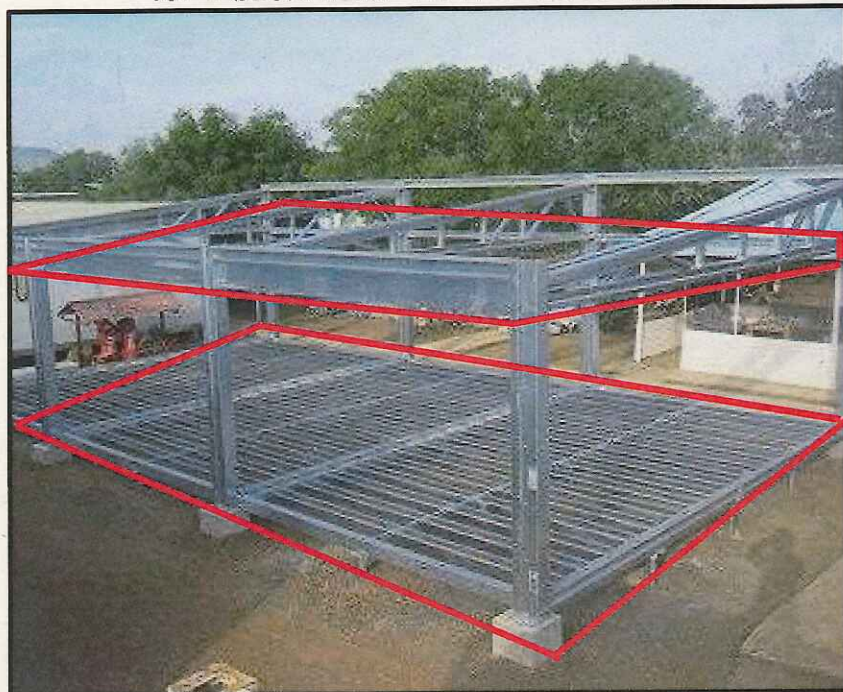
- ・退避壕構築位置マラム敷設（21m³）
- ・資材加工

本日の活動成果

Ｌｖ２クリニックプレハブ構築

活動前

第1施設小隊【11.4 0830現在】



活動中

第1施設小隊【11.4 1200現在】



活動成果

進度
累計



内壁構築

本日の活動成果

MOVCONゲート整地

活動前
第1施設小隊【11.4 0830現在】



活動後
第1施設小隊【11.4 1200現在】



活動成果

進度
累計



1 捨 土
2 整 地

本日の活動成果

UNハウス地区西側外壁構築

活動前
第2施設小隊【11.4 0900現在】



活動後
第2施設小隊【11.4 1200現在】



活動成果

進度
累計



- 整地作業
- ミフレーム組立設置及び土入れ
- 測量経始

本日の活動成果

UNハウス地区弾薬庫増設

活動前
第3施設小隊【11.4 0900現在】



活動後
第3施設小隊【11.4 1400現在】



活動成果

進度
累計



・ヘスコ設置土入れ

2 明日の活動

- (1) 活動に及ぼす影響
 - 別紙第3 「情 勢」
 - 別紙第4 「装備品等現況」
 - 別紙第5 「患者受診状況」
 - 別紙第6 「人員現況」
 - 別紙第7 「総括（評価）」
- (2) 活動命令
 - 別紙第8 「施設活動等実施に関する行動命令」
 - 別紙第9 「視察・来隊予定」
 - 別紙第10 「隊長・副隊長・CSMの行動予定」

情 勢 (1 / 8) / Situation

別紙第3-1

凡例 青字：新規
赤字：評価

1 南スーダン全域の情勢

(1) 衝突解決合意に関する情報

■ 3日、ラドスースPKO事務局長は7月の衝突に関する独立調査により、同衝突の際にUNMISSが文民を保護できなかったことが判明したことを受け、調査結果の提言を履行するための対策本部を立ち上げることを発表した模様

(3日 国連HP: "South Sudan: UN peacekeeping chief sets up task force after probe into mission's performance")

→ 差出国等は不明ながら、南スーダン政府からの反発が予想されるため、政府の発言に注視

(2) 衝突解決合意不履行に関する情報

1 [REDACTED]

2 [REDACTED]

情 勢 (2/8) / Situation

別紙第3-2

凡例 青字：新規

赤字：評価

(3) その他入手した主要な情報資料

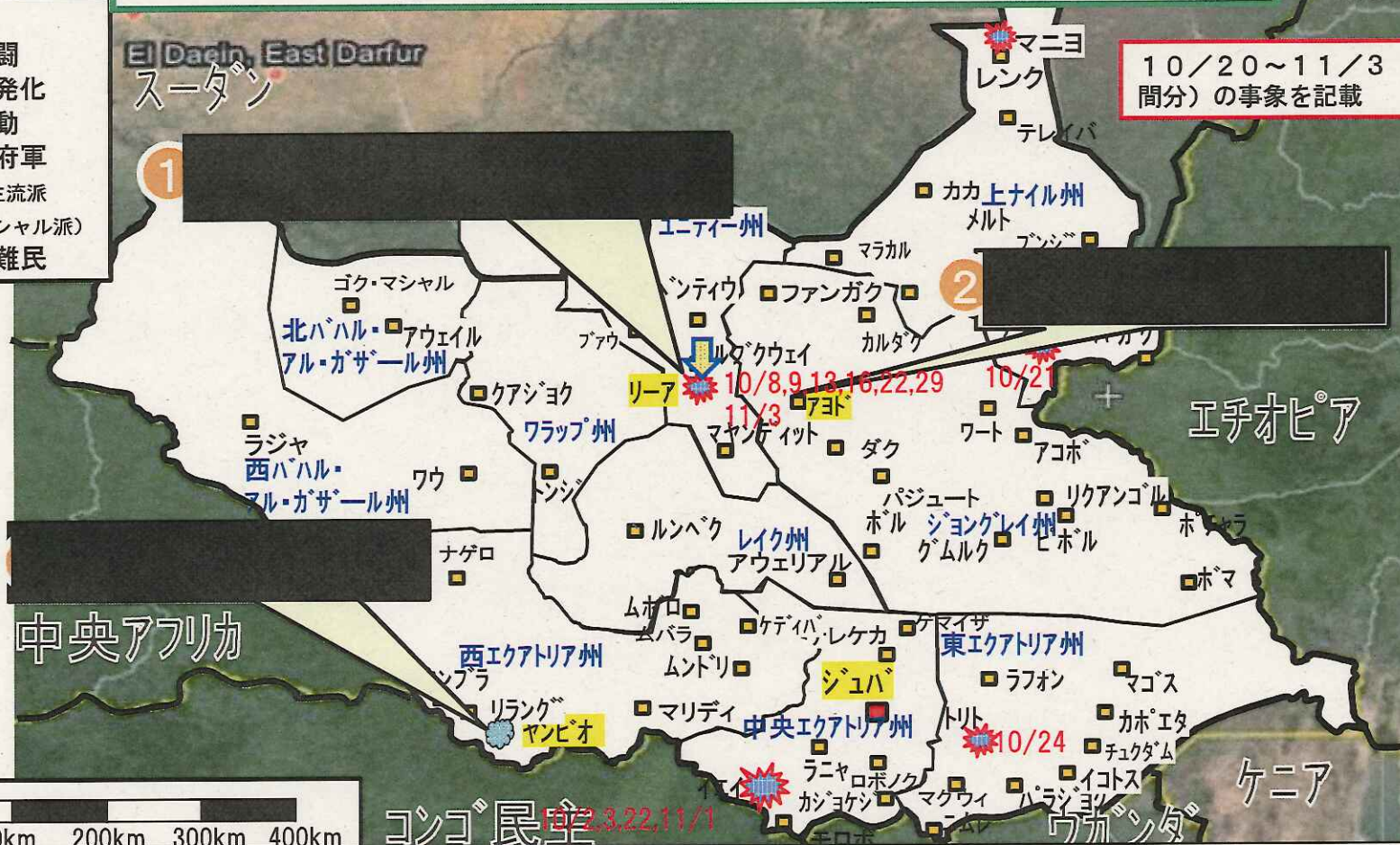
- 2日、ケニア政府は、UNMISSに参加しているケニア軍部隊の撤退を決定、国連が要請した（オンディエギ氏の）後任の推薦も拒否するとともに、今後は和平プロセスにも関与しないことを決定した模様
(3日 SudanTribune “Kenya withdrawns troops from South Sudan over dismissal of UNMISS commander”)
- 3日、ケニア大統領は「ケニアは南スーダンからケニア部隊を撤退させるとともに、地域保護部隊(RPF)への参加も中止する。」と発言した模様
(3日 EyeRadio “Kenya won’ t contribute troops to RPF”)
- 国連報道官は、「ケニアが発表した撤退について、国連として公式な通知は受けていない。」と発言した模様
(3日 East African “We value Kenyan troops in South Sudan, UN says”)
- ラドスース事務局長はケニアの撤退に関して、「主権国家としての決定として尊重するが、遺憾に思う。我々はできるだけ早くケニア部隊の不在を埋めるべく努力をしている。」と発言
(3日 国連HP: “South Sudan: UN peacekeeping chief sets up task force after probe into mission’ s performance”)

→ ケニアの去就及び国連の具体的な対応について注視

情 勢 (3 / 8) / Situation

別紙第3-3

- 凡 例
-  : 戦闘
 -  : 活発化
 -  : 移動
 - 青 : 政府軍
 - 赤 : 反主流派 (マシヤル派)
 - 黒 : 避難民



10/20~11/3 (2週間分) の事象を記載

評 価	和平合意	和平合意については、JMECによる全体会議が終了し、治安措置等について協議を行い、南スーダン政府は安保理決議において指示された全ての要求に取り組むことに合意し、JVMMも地域保護部隊の展開へ前向きな姿勢を示している事から、今後も逐次、協議が開催されるものと思料 北部及び南部において、政府軍と反主流派(マシヤル派)との小規模な戦闘が継続しており、マシヤル前第1副大統領のキール政権打倒のための武力抵抗の実施に関する発言に伴う、戦闘の拡大には注視が必要。また、南部では民間車両に対する襲撃が継続しており、ジュバ方向への物流に影響を及ぼす可能性があるため、注視が必要
	その他の事象	南部国境においては、難民が引き続き隣国へと流入するとともに、北部において国連による人道状況の調査も実施されていることから、文民保護に関するマンデートは今後も継続するものと思料。また、国連による10月中旬に予定される追加措置を前に、地域保護部隊に関する南スーダン政府側の対応に変化があり、これに伴う対UNMISS感情の変化には注視が必要

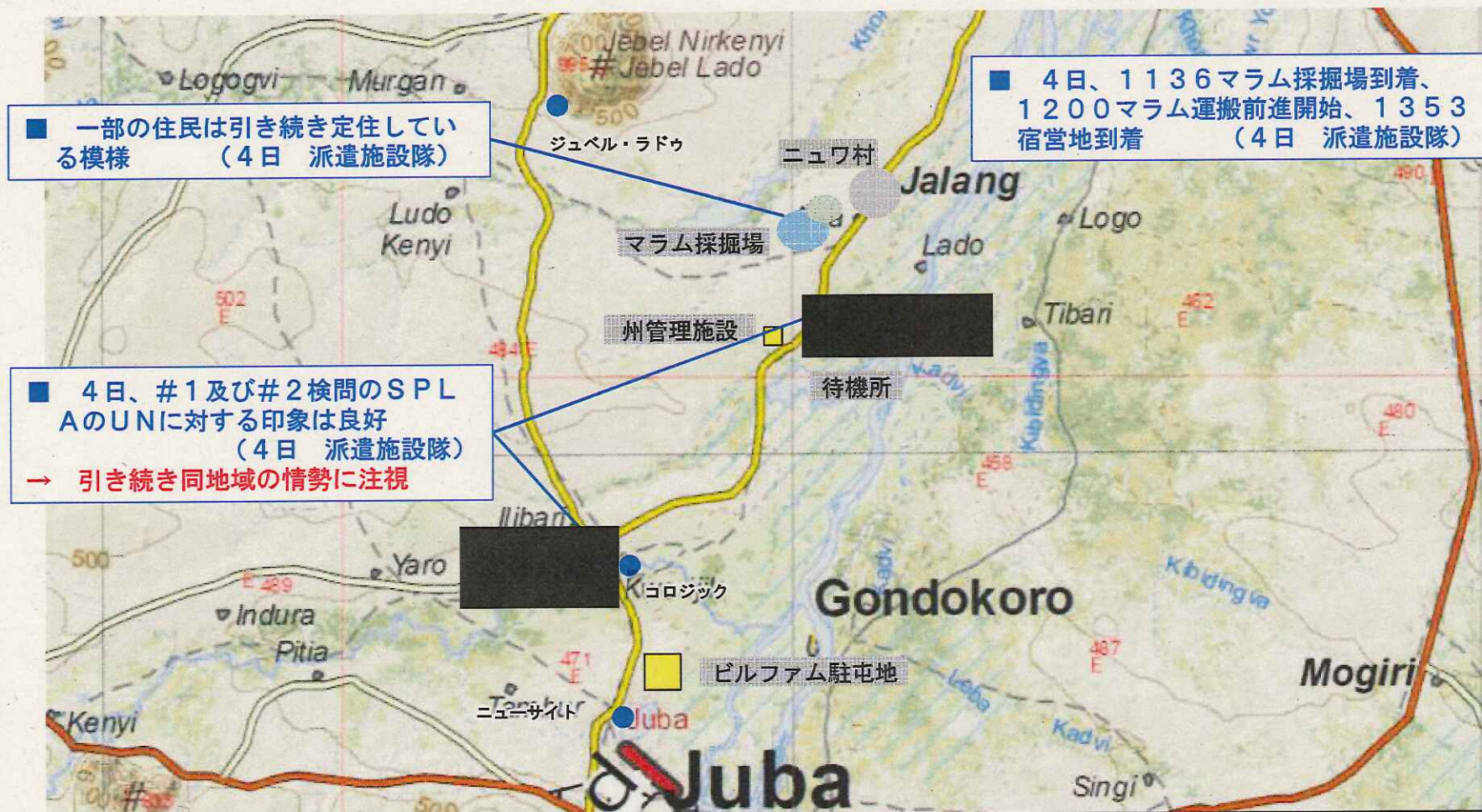
情 勢 (4 / 8) / Situation

凡 例
戦闘
兆候等
その他

郊外における状況は未だ不透明であり、道路沿いで政府軍に対する反主流派(マシャル派)による伏撃、エクアトリアン等に対する報復とみられる襲撃が発生している模様。乾季への移行に伴う、戦闘のジュバ方向への拡大及び物流への影響には注視が必要

情 勢 (5 / 8) / Situation

別紙第 3 - 5



評 価

地域住民、特にムンダリ族（銃を携行する牛飼い）と政府軍との間又は牛飼い同士の間で銃撃を含む衝突（政府軍によるムンダリ族への報復）が発生する可能性もあり、移動間の衝突への巻き込まれ及び流れ弾には警戒が必要
また、食糧確保のために、ビルファムロード沿いに北上する牛飼い等の所有する家畜への衝突にも併せて注意が必要

情 勢 (6 / 8) / Situation

別紙第3-6

3 ジュバ市内の状況

- 3日、2120頃、宿営地南方向、2 km以上で射撃音20発（うち1発曳光弾）確認
- 3日、2122頃、宿営地南方向、2 km以上で射撃音3発確認（3日 警衛隊）
→ トンピン地区での強盗等と史料
- 3日、2232頃、宿営地南西方向、3 km以上で射撃音4発確認
- 3日、2250頃、宿営地南西方向、2 km以上で射撃音2発確認
- 4日、0226頃、宿営地南東方向、1 km以上で曳光弾2発確認（3日 警衛隊）
→ ムヌキ地区での強盗等と史料
- 4日、0030頃、宿営地北西方向、2 km以上で射撃音1発確認、4名ビルファム道上逃走（3日 警衛隊）
→ ニューサイト地区での強盗等と史料。夜間における流れ弾に注意



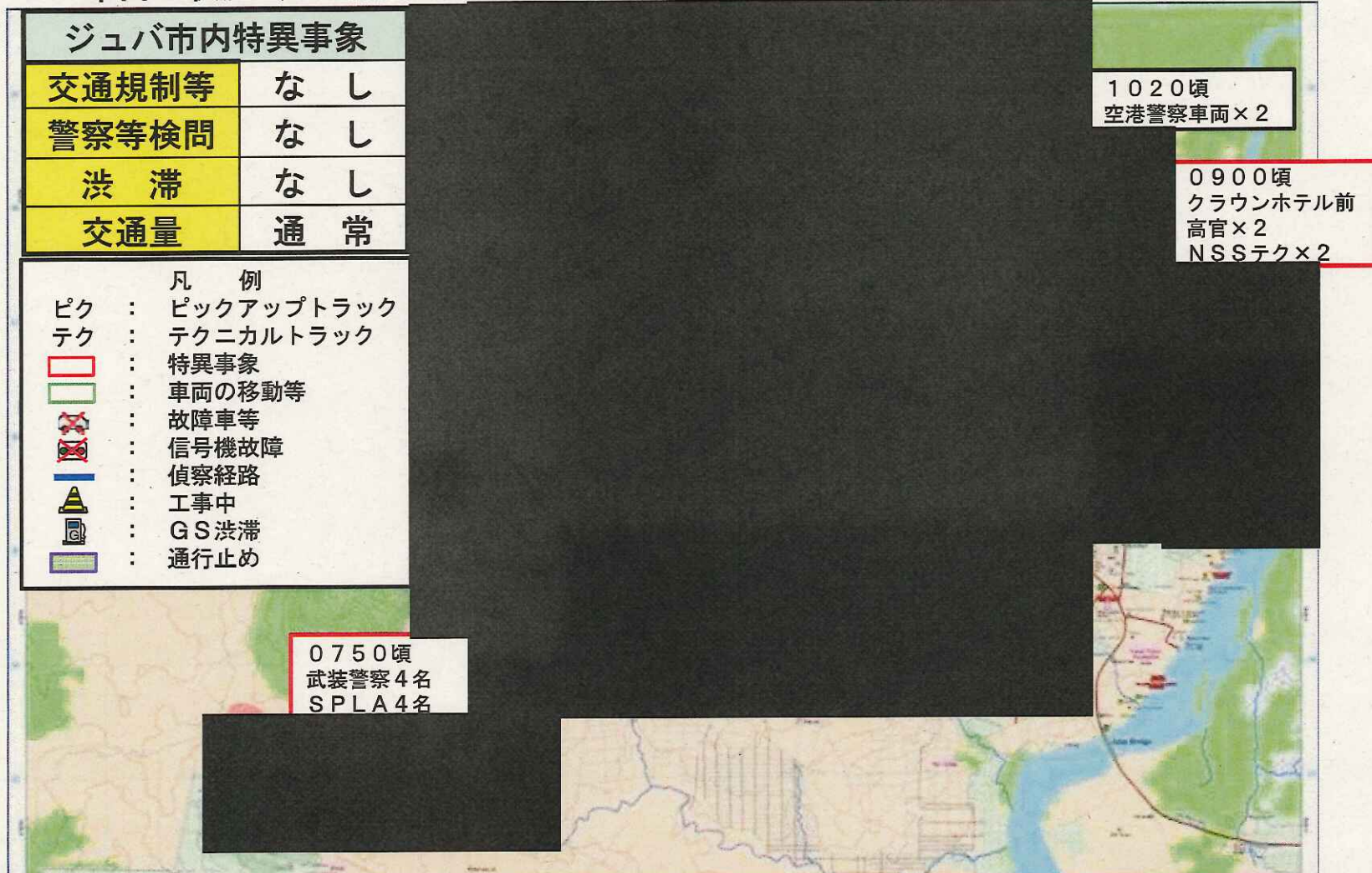
評 価

ジュバ市内は、日中は一定の安定を取り戻しているものの、各種離反に関する報道、イエイ道正面の戦闘等から市民感情は敏感になっており、引き続き注視が必要。また、[redacted]では、常続的な射撃や、[redacted]が確認されており、非武装地域の設定合意に基づく作業が開始されたものの、各種活動時にはハラスメント、流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要。また、IDPの対UNMIS感情の変化にも注視が必要

情 勢 (7/8) / Situation

別紙第3-7

5 ジュバ市内の状況 (0720~1100)



評 価

市内における全体的な警備強化等の状況は見られなかった。
交通量及び市民の移動は通常通りであり、車両運行には引き続き注意が必要

情 勢 (8 / 8) / Situation

30

別紙第 3 - 8

4 気 象 (0 6 0 0 i)

地 域	天 気	気 温		湿 度		降水量	備 考
		最 低	最 高	最 低	最 高		
ジュバ	晴れ	2 4℃	4 2℃	2 5%	6 0%	0 mm	
カンパラ	晴れ一時雨	1 5℃	3 0℃	4 6%	9 0%	4 mm	

主要装備品等現況／Equipment Status

31

別紙第4-1

11月4日1800c

区 分	可 動 率	状 況	処 置
火 器	100% ■■■■■	な し	
車 両	100% ■■■■■	な し	
施 設	100% ■■■■■	な し	
通 信	100% ■■■■■	な し	
需 品	100% ■■■■■	な し	
衛 生	100% ■■■■■	な し	
その他		150KVA発電機×2 (逆浸透浄水装置用) オルタネータ不良	部品請求実施 →■■■■■ 整備完了まで予備の220KVA 発電機×1を使用

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

32

別紙第4-2

11月4日1800c

区 分		品 名	総 数	取 得	返 納	保 管			
弾 薬	B L	9mm普通弾							
		5. 5 6 mm普通弾							
		5. 5 6 mmリンク							
	T R	9mm普通弾							
		5. 5 6 mm普通弾							
		5. 5 6 mmリンク							
	計								
打ち殻	9mm打がら薬きょう								
	5. 5 6 mm打がら薬きょう								
計									

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

33

別紙第4-3

喫食者数：323名（総員353名、国連休暇30名）

11月4日1800c

区 分	品 名		取 得	消 費	現保有量	維持日数	備考（処置）
糧食等	個人糧食	戦闘糧食Ⅱ型					
		市販型					
		アルファ米					
		UN非常用糧食					
	耐 久 品	米					
		副食パック					
	UN食材	生 鮮					
		冷凍・耐久					
	現地調達	生 鮮					
		冷 凍					
そ の 他	加熱剤						
燃 料	COE	UN軽油(発電機)					
	NOE	軽油（調達品）					
		灯油（調達品）					
		ガソリン(調達品)					
水	飲料水						
	海水淡水化装置（浄水）						

第10種補給品（水）の推移（1週間実績）

34

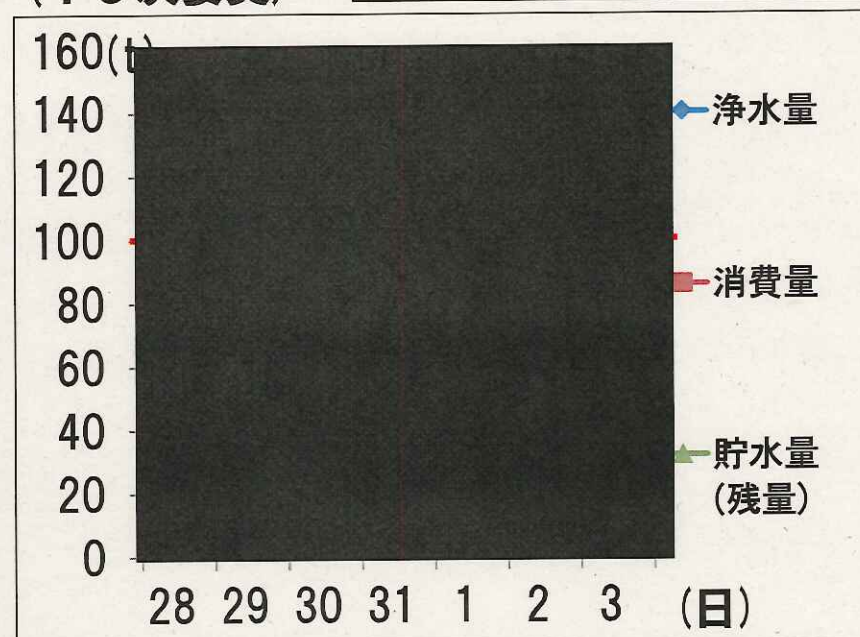
別紙第4-4

11月4日1800c

【H28.10】（10次要員）

凡例 — 消費量の目安ライン

曜	日	浄水量	消費量	貯水量 (残量)
金	28			
土	29			
日	30			
月	31			
火	1			
水	2			
木	3			



他国供給先（前日実績）	供給量
UNハウス	5
トランジット	3
ネパール F P U	
ネパール歩兵中隊	4
エチオピア大隊	
バングラ河川隊	
インド隊	3
合 計	15

【評 価】

○第4井戸の故障復旧後、取水量は安定傾向を保っている。

再度、砂の埋没により故障となる可能性があるため、第5井戸の早期着手により対応

○第5井戸の工事期間：10月20日から11月上旬

→水質検査のためのサンプル採取(11月4日1300c)

※ 貯水の危険水位：

(注) 日々の消費量が連続で続いた場合、貯水量が減少する。井戸の故障状況によっては数日で危険水位を下回る可能性もある。その場合はシャワーや浴槽、洗濯の使用を制限する。

患者受診状況

受診患者計 4 名

11月 3日 1400c
~ 11月 4日 1400c

所属等／Section	傷病者数	疾患名／Disease	備 考
本部付隊	1 名		
第 1 施設小隊	2 名		
情報班	1 名		

凡例： (再) → 再 診

11月4日1800c

人員現況/Personnel Status

	場 所	総員 (名)	事故 (名)	現在員 (名)	事故の内訳 (名)	備 考
第10次要員	ジュバ (UNトンピン)	353	30	323	国連休暇 30名 (11/3~11/8)	

宿営地待機人員

区 分	人員数
待機人員	

活動の分析及び評価

37
別紙第7-1

項 目		兆候上	発生する公算
情 勢	宿营地	流れ弾	10/4, 6, 9, 10, 11, 16, 17, 20 11/2近傍での射撃（特に夜間）
	UNトンピン	反UNデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/2~5 安保理代表団来南スーダン（2, 3, 4昼, 5朝ジュバ） 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対
		流れ弾	7/11~昼間の発生なし
		疾病罹患・遺棄物での怪我	9/28 IDPの移送完了されるも天幕等残置
	UNハウス	反UNデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対
		IDPの流入又は侵入	
		流れ弾	
			10/4 WFZ（Weapon Free Zone：非武装地域）の予行の実施
	#1POCサイト	IDPとの小競合い（マシャル派、タバン派）への巻き込まれ	
	#3POCサイト	IDPデモ	7/27 食糧と女性の権利要求デモ
		IDPとの小競合い（マシャル派、タバン派）	9/17 政府軍のPOCサイトへの侵入
		疾病罹患	7/13 疾病による死者発生、死体放置

活動の分析及び評価

38
別紙第7-2

項 目			兆候上	発生する公算
情 勢	ジュバ市内	ハラスメント及び巻き込まれ	9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/12 UNMISSの移動の自由の保証（大統領報道官） 10/12 タバン第1 副大統領の帰国（米国） 10/12 大統領の顕在誇示による市民の不安の払拭 10/19 JMEC全体会議の開催 10/28 イチバア首相来南ス来訪 10/28-11/5 AU安全保障会議開催 11/1-2 外国高官の来訪	
		反UNデモ	8/22 地域保護部隊に関する一定の譲歩、米からの資金援助 8/30 高官ゲートでUN介入反対の横断幕 9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/27 制裁専門家へ初報告 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対	
		流れ弾	9/22, 10/26, 11/3 ジュバ市内における射撃（タ方以降）	

活動の分析及び評価

39
別紙第7-3

項 目		兆候上	発生する公算
情 勢	ジュバ～マンガラ 周辺地域 ・ゲマイザ ・トリト ・ニムレ ・ロボノク	10/13 政府軍の検問所は 存在	
		戦闘への巻き込まれ	
		ハラスメント	
		10/13, 17 エクアドリアンを標的とした犯罪	
		10/24 ジュバ - ニムレ道沿いのウガンダとの協力態勢の確立	
		10/26 ジュバ - マンガラ間の治安部隊の配置 11/2 ジュバ - トリト道沿いの襲撃	
	ジュバ～コダ 周辺地域 ・ロコン	10/13 政府軍の検問所は 存在	
		10/14 39°での政府軍と反主流派の衝突	
		10/30 反主流派がムドリ地区を確保したとの発言	
		戦闘への巻き込まれ	
		ハラスメント	
		犯罪への巻き込まれ	
	ジュバ ～マラム採掘場 周辺地域 ・テレケカ	10/26, 27, 11/1, 2 マラム採掘場の情勢は平穏 10/29, 30 近傍住民との小競合い 11/2 ビルファム駐屯地南で約30発の射撃音	
		10/26, 27, 11/1, 2 検問を異状なく通過	
		11/1-2 外国高官の来訪 11/2 ビルファム駐屯地南で約30発の射撃音 11/3, 4 検問に所在するSPLA兵士の感情良好	
		10/26, 11/2 牛の数が増加 10/27 部族間の感情は良好 11/2 ビルファム駐屯地南で約30発の射撃音	
		戦闘への巻き込まれ	
		ハラスメント	

活動の分析及び評価

活 動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
宿営地活動	流れ弾		
UNトンピン 活動	反UNデモ		
	流れ弾		
	疾病罹患・遺棄物での怪我		
UNハウス 活動	反UNデモ		
	IDPの流入		
	流れ弾		
#1POC サイト	IDPとの小競合いへの巻き込まれ		
#3POC サイト	IDPデモ		
	IDPとの小競り合い IDP内の小競合いへの巻き込まれ		
	疾病罹患		

活動の分析及び評価

41

別紙第 7 - 5

活 動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ市内の 活動及び通行	ハラスメント及び巻き込ま れ		
	反UNデモ		
	流れ弾		

活動の分析及び評価

42
別紙第7-6

活 動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ～マンガ ラ 周辺地域 ・ゲマイザ ・トリト ・ニムレ ・ロボノク	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		
ジュバ～コダ 周辺地域 ・ロコン	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		
ジュバ ～マラム採掘 場 周辺地域 ・テレケカ	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		

総 括

ジュバ市郊外での戦闘は小康状態にあるものの、マシャル氏がキール政権に対する抵抗を宣言したことから、ジュバ西部及び南部の戦闘には注視が必要。また、郊外の主要道路沿いでディンカ族や移動中の政府軍を狙った襲撃、その報復と見られるエクアトリアン等に対する襲撃、政府軍兵士による反主流派と見做された民間人に対する暴行と報復が発生しており事態の拡大には注視が必要。加えて、ムンドリ近郊における治安が不安定化している傾向にあり、UNMISS車両が問題なく通行しているものの、道路沿いの政府軍車両に対する伏撃等への巻き込まれ及び衝突の東側への波及には注意が必要

マラム採掘場に至る経路沿いでは、夜間に犯罪と見られる射撃が確認されているものの、UNMISS車両の通行に対する直接的な脅威は確認されておらず、犯罪への巻き込まれには注意が必要

██████では、常続的かつ単発的な射撃の発生、銃を携行した政府軍兵士及び#3POCサイトでの反主流派（マシャル派）の活動が確認されており、巻き込まれ及び流れ弾が同地域周辺で発生する可能性が高い。加えて、IDPとのUNPOL等との間で小競合いが発生しており、IDPの対UNMISS感情の変化には注視が必要

ジュバ市内においては、昼間は一定の治安の回復が見られるものの、夕方以降（暗くなる時間帯）は銃犯罪を含む犯罪が確認されており、不安定な状態が継続しており、流れ弾には注意が必要

加えて、大統領級の高官来訪時には市内及び郊外へ至る経路の警備が強化される模様であり、高官来訪時にはSOF A違反には注意が必要

また、キール大統領が地域保護部隊の早期展開に協力的な姿勢を見せ始めたものの、市民団体が反発を示すとともに、政府報道官が近隣国からの派遣を拒否する姿勢を示しており、対UN感情の変化には注視が必要

UNトンピン内においては、IDPの遺棄した不審物、疾病への罹患に引き続き注意が必要

総 括

44

別紙第7-8

評 価 (総括)	- 宿営地内及びUNトンピン内活動は、IDP移動完了に伴う道路整備等において、遺棄物等による怪我、疾病罹患に対する防護が必要 - ジュバ市内(マラム運搬除く)の移動・活動は、空港・検問によるハラスメントの可能性があるものの、それ以外の地域におけるハラスメントの可能性は低く、各歩兵大隊のパトロール情報及び自隊の経路偵察、市内状況、移動時間、移動経路・予備経路の指定など処置が必要である マラム運搬については情勢の確認のほか、事前のMLO等との調整、CPによる治安状況、ハラスメントの兆候の確認が必要である - UNハウスにおける活動は、UNハウス西側・南側における射撃事案、流れ弾及びIDPによる投石の可能性があり、処置事項を実施することで活動可能であるが、UNハウス西側における活動は、最近の射撃事案発生個所に比較的近傍であるため、車両による防護準備が必要 また、ジュバ西部及び南部の戦闘の状況及びUNハウス地区近傍における発砲状況によっては、前進時期、活動中止、宿営地への撤収等の統制が必要						
処置・対策	<table border="1"> <tr> <td>IDPとの小競合い</td><td rowspan="5"></td></tr> <tr> <td>疾病罹患</td></tr> <tr> <td>流れ弾対処</td></tr> <tr> <td>IDPデモ対処 SPLA等によるハラスメント</td></tr> <tr> <td>戦闘への巻き込まれ</td></tr> </table>	IDPとの小競合い		疾病罹患	流れ弾対処	IDPデモ対処 SPLA等によるハラスメント	戦闘への巻き込まれ
IDPとの小競合い							
疾病罹患							
流れ弾対処							
IDPデモ対処 SPLA等によるハラスメント							
戦闘への巻き込まれ							

明日の活動命令 (Operations)

- 1 施設活動等実施に関する活動命令
(方針・指導要領) (Policy & Guidance)
- 2 視察・来隊予定 (Schedules of visitors)
- 3 隊長・副隊長・CSMの行動予定
(CO/DCO/CSM Schedules)

11月5日施設活動等実施に関する南スーダン派遣施設隊活動命令

1 情勢報告参照

- 2 (1) 隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNトンピン地区内給水活動を実施するとともに、孤児院の慰問を実施し、南スーダンの将来を担う子供達の成長を支援して、南スーダンの平和と発展に寄与するとともに、日本国への信頼を醸成する。
また、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図る。

(2) ア 活動警備レベル（基準）

- (ア) UNトンピン地区 レベル [REDACTED]
(イ) UNハウス地区 レベル [REDACTED]（ハウス西側を除く。）
(イ) ジュバ市内
a zone 4（ジュバタウン） レベル [REDACTED]
a zone 5（ハイシネマ） レベル [REDACTED]
b zone 6（ハイカトウエスト） レベル [REDACTED]

イ 宿営地警備 [REDACTED]

- 3 (1) 共通
孤児院の慰問及び各種整備
(2) EqPt（施設器材小隊）
宿営地整備
(3) SecPt（警備小隊）
宿営地警備、同行警備及び [REDACTED]
(4) HQU（本部付隊）
宿営地維持・管理活動、UNトンピン地区内給水活動及び [REDACTED]
(5) MIsEc（情報班）
ジュバ市内、 [REDACTED] 及びUNトンピン地区における情報収集
(6) GuardSec（警護班）
副隊長警護
(7) MP Sec（警務班）
[REDACTED]

活動概要（UNトンピン地区）（1／4）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	その他	給 水	補給班	0800～ 0900	トランジット	2	給水車×1	
②	その他	給 水	補給班	0900～ 1000	インド歩兵大隊	2	給水車×1	
③	情報	情報収集	情報班		UNトンピン内			
④	その他	広報活動	隊本部 (広報)		UNトンピン内			
⑤		業務調整（輸送）	隊本部 (S－4)		0900～ 1630			
⑥	施設	宿営地整備	器材小隊	0800～ 1200	日本隊宿営地	6	グレーダ×1 ロードローラ×1	

活動概要（UNトンピン地区）（2／4）



③

情報収集

④

広報活動

活動概要（ジュバ市内・UNハウス）（3／4）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	情報	経路偵察	隊本部 (S-2)		ジュバ市内			
②		情報収集	情報班		ジュバ市内			
③	その他	孤児院慰問	隊本部 (S-1) 各部隊	0900～ 1300	CCC孤児院	21	ランクル×1、高機×3	
④		副隊長孤児院慰問視察 ※状況により隊長	副隊長 隊本部 (S-1)	1010～ 1120	CCC孤児院	4	ランクル×1	
⑤		現地調達（補給班）	補給班	0900～ 1200	ジット LA BAGETTO	3	高機×1	

活動概要（ジュバ市内・UNハウス）（4／4）

①	—	経路偵察
②	—	情報収集
③ ④	—	孤児院慰問
⑤	—	現地調達
— — —	—	予備経路



視察・来隊予定 (Schedules of visitors)

時 間	視察・来隊者	備 考
	○ 豪軍（9名） 他、5名	○ 目 的 日豪懇親会参加 ○ 対 応 S-1

隊長、副隊長の行動予定

別紙第10-1

	AM	PM	課業外
隊長			
副隊長			

最先任上級曹長の行動予定

別紙第10-2

	AM	PM	課業外
最先任 上級 曹長			

3 じ後の予定

別紙第11「全般活動予定」

11月 月間業務予定

[illegible]

週間活動予定 (10/30~11/5) 第47週

日 曜日	10/30 日	10/31 月	11/1 火	11/2 水	11/3 木	11/4 金	11/5 土
全 般	内閣総理大臣補佐官来隊						
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備 考							

週間活動予定 (11/6~11/12) 第48週

日	11/6	11/7	11/8	11/9	11/10	11/11	11/12
曜日	日	月	火	水	木	金	土
全 般							
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備 考							

4 情報共有事項

別紙第12「連携案件等情報」

連携案件等情報

別紙第12

赤字：変化事項

1 形成中の案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	現 状	調整先	調整状況・備考等	評価
1	ODA- PKO 連携案件	職業訓練 「#4さくらPJ」	MTC	実施困難	MTC JICA	・10/1 JICA南スーダン事務所長交代 (ウガンダ事務所長兼任) ・10/20 JICA南スーダン事務所のウガンダ移転完了。 南スーダンへの復帰時期の見通し立たず ・現在のUNMISSの活動の焦点・他業務予定を考慮 すると実施困難 ・11/23 担当者引継ぎ、12/14 隊長による次長表敬予定	
		フリーダムブリッジに おける作業支援	JICA 大日本土木	CRFにお いて実施の可 否を検討中	CRF JICA	CRFにおいて外務省及びJICAによるプロジェク ト継続等に関する再検討の結果待ち	
2	国際機関等 連携案件	UNOPS水質調査支援 (日本補正予算によるボ ル河川港建設PJに伴う 水質調査の依頼)	UNOPS (大使館)	工兵課から タスク発出済 み	UNOPS (※) (大使館)	・ボル河川港建設事業は現在着工済だが、引き続き、水 質調査支援等の連携のため、UNOPS側より工事の進 捗状況について情報提供をする予定	
		UNハビタット (日本政府予算による ワウ・ジュバにおける 居住環境整備事業)	UN ハビタット (大使館)	大使館から連 携の可能性検 討再開の打診 あり	UN ハビタット (大使館)	・7/25に隊への事業内容に関する説明、隊から先方への 治安上実施困難である旨、連携には工兵課の承認を得る ための先方からのリクエストが必要である旨通報済み ・UNハビタットは、7月衝突事案以降中断していた施設隊 との連携に向けた調整を再開したいとの意志あり ・10/21に、大使館とUNハビタット担当が現地偵察を実施。 施設隊と連携できる場合は、排水改善のための側道整備 となることが判明 ・UNハビタットから、UNMISSハイレベルの書簡によ る打ち込み完了(11/4大使館より確認)	
3							

※ UN Office for Project Services：国連プロジェクト・サービス機関)

凡 例 ◎：タスク化成立 ○：自隊による実施 ×：実行の可能性低 ー：調整中

2 終了案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	概 要	実施時期
	ODA-PKO連携案件	なし			
	国際機関等連携案件	なし			

5 參考資料

気 象 (4日～5日) ジュバ/Weather JUBA

61
最高気温 (1400
まで反映)

気温(直射)	気温(日陰)	湿 度	総雨量
42℃	39℃	25%	0mm



日(曜) Date		4日(金)		5日(土)					
時 Hrs		18~21	21~24	0~3	3~6	6~9	9~12	12~15	15~18
主要な活動						UNの基盤整備			
								孤児院慰問	
		国連休暇(10Gp)							
Juba	天 気								
	気温(℃)	29	27	24	23	31	36	38	36
	体感気温(℃)	28	27	26	25	32	36	38	40
	降水確率	0%	60%	30%	0%	0%	0%	0%	0%
	雨 量	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm
	風 向	北東	南南西	西南西	南	南南東	南南東	東北東	北東
	風 速	2	1	2	2	3	3	1	1
評価 Assesment	施設活動								
	行 事								

凡例 影響度: 問題なし < 一部制限 < 実施困難

資料源: WORLD WEATHER ONLINE

気 象 (週間) ジュバ/Weekly Weather JUBA

日 (曜)		6 日 (日)	7 日 (月)	8 日 (火)	9 日 (水)	10 日 (木)
主要な活動			会計幹部ウガンダ出張			
			UNの基盤整備			
			市内研修			メダルパレード
			国連休暇 (10 Gp)			国連休暇 (11 Gp)
Juba	天 気					
	気温 (°C)	38 / 23	37 / 23	37 / 23	36 / 23	36 / 24
	降水確率	50%	90%	90%	60%	90%
	雨 量	2mm	0mm	0mm	0mm	0mm
	評 価					
Kampala	天 気					
	気温 (°C)	30 / 16	29 / 16	30 / 16	31 / 17	31 / 15
	降水確率	90%	90%	90%	90%	90%
	雨 量	4mm	4mm	2mm	2mm	2mm

凡例 影響度:

問題なし

<

一部制限

<

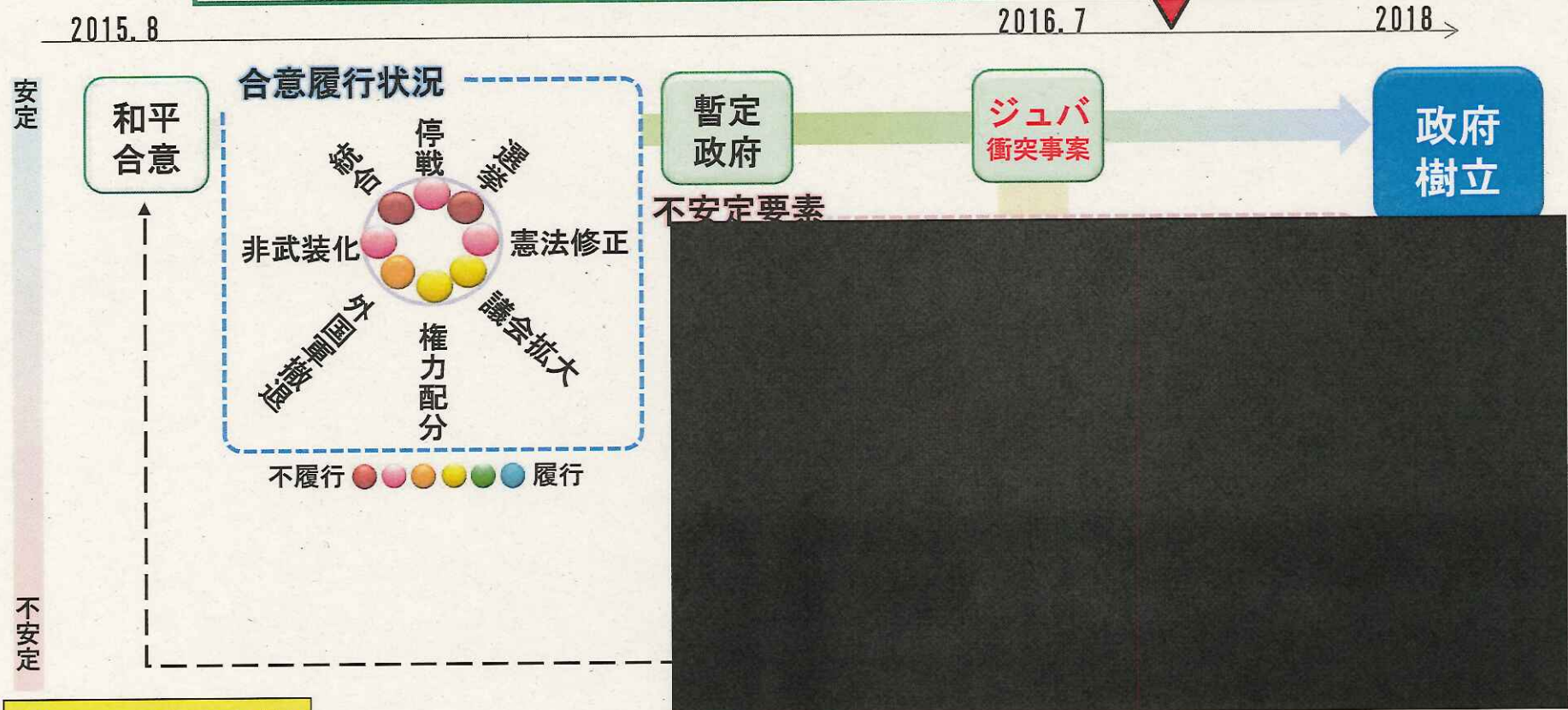
実施困難

資料源: WORLD WEATHER ONLINE

評 価
Assessment

- 1 ジュバは6日以降降水確率が高く、不安定な天候が続く模様
- 2 ウガンダは週を通じて降水確率が高く、局所的な雨に注意

予想シナリオと我に及ぼす影響／Expected Scenario & Effects



我に及ぼす影響

関係悪化モデル

- ジュバでの衝突激化に伴うUN活動の停止
- 武力衝突・[]に伴う、活動の制限
- []による負傷者発生
- ジュバ市内での大量のIDPの発生
- チェックポイント警戒強化(私の移動制限)
- ウガンダからの物流の停止

和平成立モデル

- 治安改善に伴うUNマンドートの変更
- 少数派による新体制批判デモ
- 非武装化に伴う、市内犯罪の増加
- 政府軍と地元住民との係争
- 統合された治安部隊の部族間相互の意見相違による係争

セクターサウス内部状況（2016年11月3日現在）

65



 **エチオピア**
歩兵大隊 I
本部:ジュバ

 **ネパール**
歩兵大隊 II
本部:ジュバ

 **中国**
歩兵大隊
本部:ジュバ

 **ルワンダ**
歩兵大隊 I
本部:ジュバ

航空部隊
(本部:ジュバ)

 **日本**
施設部隊
(約350名:本部:ジュバ)

 **バングラデシュ**
施設部隊 本部:ジュバ
河川部隊 本部:ジュバ

 **カンボジア**
憲兵隊:(本部:ジュバ)
医療部隊:(本部:ジュバ)

 **インド**
歩兵大隊 II

 **エチオピア**
歩兵大隊 II

＝増派部隊

＝後方支援部隊

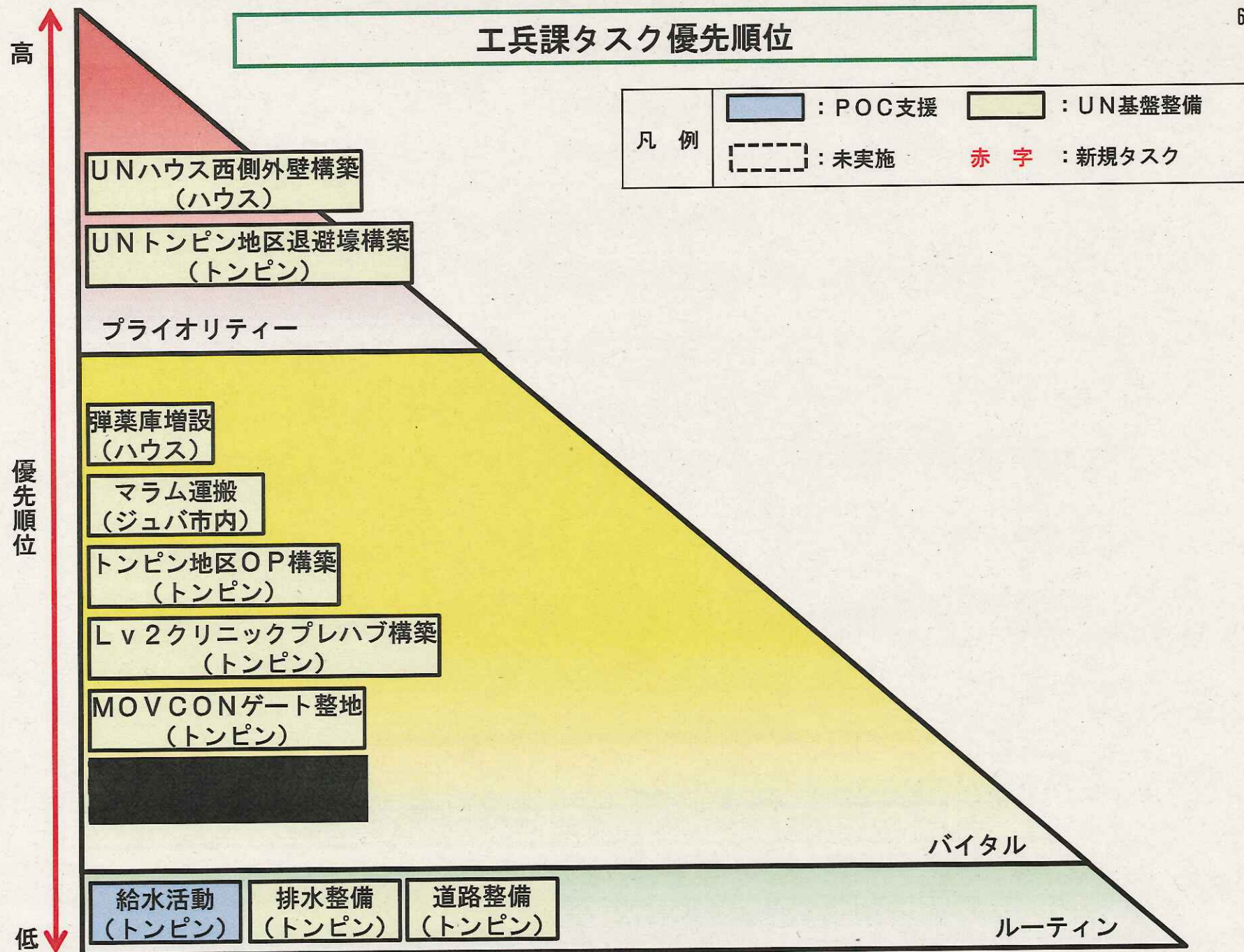
人員現況（第10次要員）

66
2 8 . 1 1 : 4
1 5 0 0 c

場 所	部 隊		総 員	内 訳			現在員	事故	理由
				幹部 (O)	准曹 (WS)	陸士 (P)			
ジュバ	隊本部							国連休暇 2 名	
	本部付隊	付隊本部							
		隊本部班						国連休暇 1 名	
		整備班						国連休暇 2 名	
		補給班						国連休暇 3 名	
		通信班						国連休暇 1 名	
		衛生班						国連休暇 1 名	
		営繕班							
		施設器材小隊						国連休暇 4 名	
	第 1 施設小隊							国連休暇 3 名	
	第 2 施設小隊							国連休暇 3 名	
	第 3 施設小隊							国連休暇 2 名	
	警備小隊							国連休暇 7 名	
	情報班							国連休暇 1 名	
	警護班								
派遣警務班									
合 計			353	65	252	36	323	30	

凡例 赤字：強調 青字：不在者

工兵課タスク優先順位



11月4日タスク等現況(1/2)

68

凡 例		: POC支援		: インフラ整備		: UN基盤整備		: 国際機関等連携案件
-----	--	---------	--	----------	--	----------	--	-------------

1 実施中

タスク No	活動区分	優先 順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の 進捗状況	開始 時期	終了 時期	昼食の 形態	備 考
487	UN 基盤整備	1	UNハウス 西側外壁構築	UNハウス	ミフラム構築	実施 計画				
492	UN 基盤整備	2	UNトンピン地区 退避壕構築	UNトンピン	退避壕構築	実施 計画				
469	UN 基盤整備	3	弾薬庫増設	UNハウス	ヘスコ増設 外柵構築	実施 計画				
500	UN 基盤整備	4	マラム運搬	ジュバ市内	マラム運搬	本日 累計				
476	UN 基盤整備	5	トンピン地区OP構築	UNトンピン	ヘスコ構築 屋根構築	実施 計画				工兵課の指示 待ち
508	UN 基盤整備	6	Lv2クリニック プレハブ構築	UNトンピン	プレハブ構築	実施 計画				
507	UN 基盤整備	7	MOVCON ゲート整地	UNトンピン	整 地	実施 計画				
325	POC 支援	8	給水活動	UNトンピン	給 水					
471	UN 基盤整備	9	排水整備	UNトンピン	排 水					
459	UN 基盤整備	10	道路整備	UNトンピン	道路整備					

11月4日タスク等現況（2／2）

69

凡 例 : UN基盤整備

2 未実施

タスク No	活動区分	優先 順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の 進捗状況	開始 時期	終了 時期	昼食の 形態	備 考
456	UN 基盤整備			UNトンピン						

タスク累計受領数（完了数）	タスク実施数（第10次要員）		
510 (496)	プライオリティー	14	
	バイタル	70	
	ルーティン	3	
	計	87	
		完 了	76
		実施中	10
		未実施	1

地域脅威レベル評価 (28.11.5現在)

70
2016.11.4

1:80,000

マラム校跡地

#20161105 5-2
28.10.28

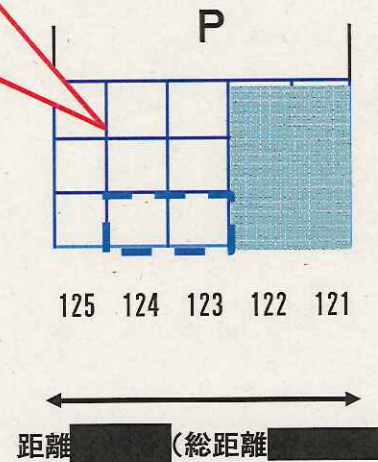
1 レベル	2 レベル	3 レベル	4 レベル	5 レベル	6 レベル
----------	----------	----------	----------	----------	----------

UNハウス西側外壁構築（28.11.4現在）

71

D工区

調整中のため、来週以降作業着手



凡例



ミフラム設置



空ミフラム設置箇所



本日作業箇所

成果

ミフラム設置



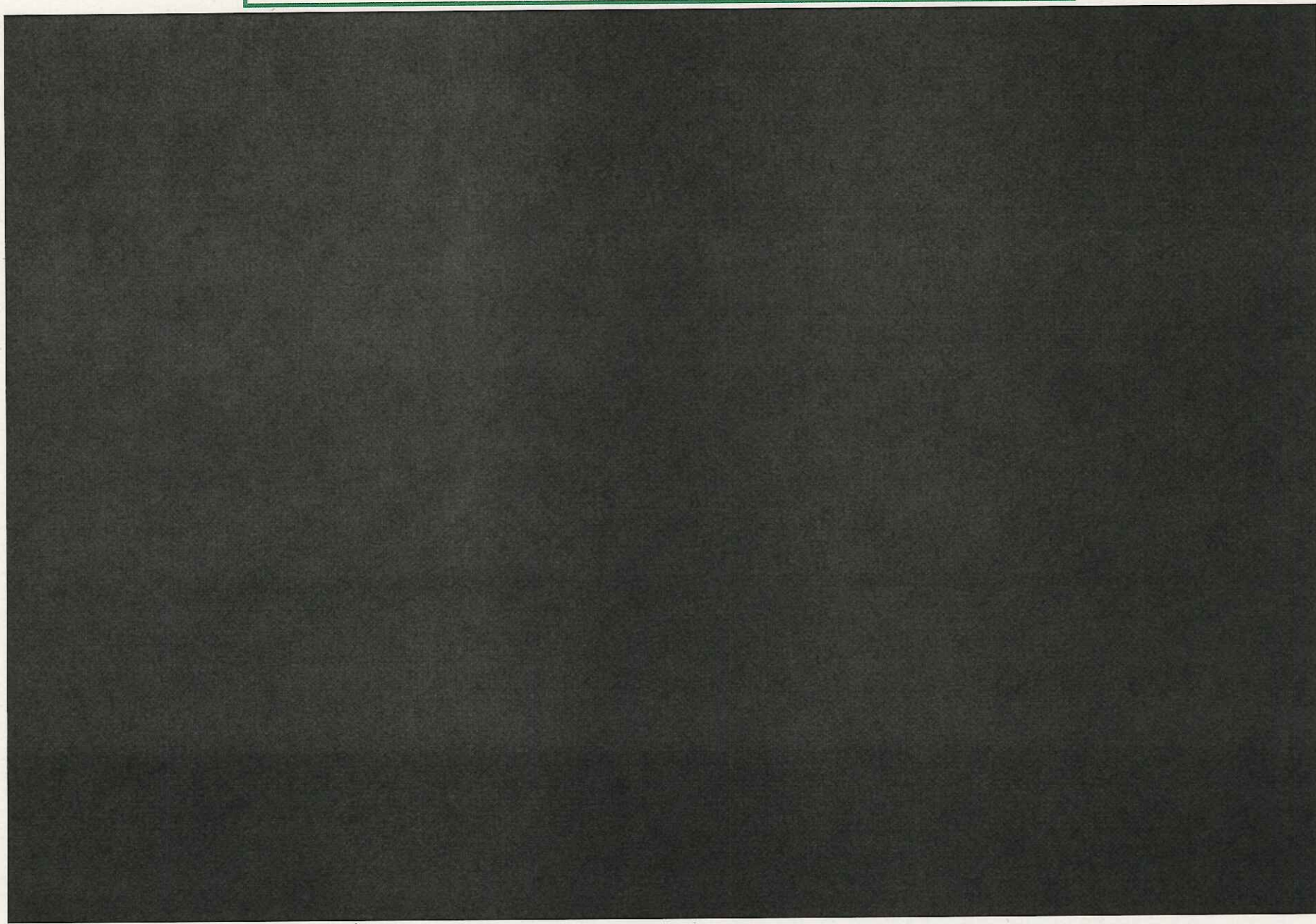
※ 赤字：作業完了により変更部分

UNハウス西側外壁構築（28. 11. 4現在）



UNハウス地区弾薬庫増設（28.11.4現在）

73



隊員服装・装備等基準

74

区 分	警備小隊	経路偵察に任ずる部隊	活動部隊 (警備、経路偵察除く。)
備考			

警備の態勢

(11月4日1700現在)

活動写真

UNタスク (UNトンピン)



UNトンピン地区退避壕構築
(施設器材小隊)

UNタスク (UNトンピン)



UNトンピン地区退避壕構築
(施設器材小隊)

UNタスク (UNトンピン)



MOVCONゲート整地
(第1施設小隊)

UNタスク (UNトンピン)



MOVCONゲート整地
(第1施設小隊)

活動写真

UNタスク (UNハウス)

UNハウス地区西側外壁構築
(第2施設小隊)

UNタスク (UNハウス)

UNハウス地区西側外壁構築
(第2施設小隊)

UNタスク (UNハウス)

UNハウス地区弾薬庫増設
(第3施設小隊)

UNタスク (UNハウス)

UNハウス地区弾薬庫増設
(第3施設小隊)

部外広報

報道状況

FaceBook (11月4日付) : 孤児院慰問 下士官交流 UNデー祝賀イベント

国連南スーダン共和国ミッション (UNMISS) 日本課
活動記録さんが写真10件を追加しました。

11月4日

孤児院慰問

南スーダン派遣地検隊等 (第10次要員) (隊長 1等陸佐 中力博) は、平成28年10月15日 (土)、南スーダンの首都ジュバ市にあるCCC (Confident Children out of Conflict) 孤児院を慰問した。

孤児院の慰問は、第2次要員から始まり、南スーダンの紛争を扱う子供達の成長を支援し、南スーダンの平和と発展に寄与する事を目的として行ってきたボランティア活動である。

※国連館に参加した約20名の要員は、折り紙、けん玉等の日本の伝統的な遊びの他、なわとび、バレーボールなどを通して、地検隊員同士の交流を促す約60名の子供達と触れ合い、孤児院は子供達の明るい笑顔と歓声で賑わった。...もっと見る






国連南スーダン共和国ミッション (UNMISS) 日本課
活動記録さんが写真8件を追加しました。

11月4日

UNMISS下士官交流

南スーダン派遣地検隊等 (第10次要員) (隊長 1等陸佐 中力博) は、平成28年10月22日 (土) 国連トンジン地区内にある派遣地検隊等実地において、UNMISS下士官交流会を開催した。

本交流会は派遣地検隊要員と上級要員、伊保道雄が呼びかけて開催したもので、UNMISS35加盟国の最上級上級要員と上級要員の意見交換を通じ、UNMISSにおける最上級上級要員ネットワークの構築や連携の強化を目的として実施した。交流会には、UNMISS最上級上級要員の中でシユー・サカシ演劇を始め7か国より10名の最上級上級要員及び派遣地検隊要員を含む24名の要員が参加し、「最上級上級要員会での良好な点と課題点について」等を議題とした討議や意見交換を通じ、より一層、信頼関係を築いた。

また、交流会の冒頭において、中力隊長は、「最上級上級要員は、下士官の中から選ばれた存在であり、誇りを持って職務を遂行し、南スーダンの平和と安定に寄与してほしい。」と述べた。






国連南スーダン共和国ミッション (UNMISS) 日本課
活動記録さんが写真7件を追加しました。

11月4日

UNデー (United Nations Day) 祝賀イベント開催

南スーダン派遣地検隊等 (第10次要員) (隊長 1等陸佐 中力博) は、平成28年10月24日 (月)、ジュバ市郊外のエマコロンカシチャセンターにおいて実施されたUNデー (United Nations Day) 祝賀イベントに参加した。

UNデー (United Nations Day) とは、1945年10月24日に国連憲章が生效し、国連連合が正式に発足したことを記念して設けられた国際記念日である。

今回は、第271回年におたり、南スーダンに派遣する各国連隊の帰郷や南スーダン政府関係者等が参加し、現地の人々とともにこの記念日を祝った。...もっと見る

